

検体: 新鮮な抗凝固剤 (ヘパリンor EDTA) 添加血液10mL → 採血後24時間が望ましい。

各施設でご用意いただくもの

時間の経過と共にPBMCが分画し難しくなります。

- ・ 10mLの採取できる滅菌ピペット or 電動ピペッター (必要に応じて)
- ・ 1000 μ Lの採取できるマイクロピペットと滅菌済チップ
- ・ 15mLのスピッツが遠心できる遠心分離機
(15mLチューブホルダー、ローター (スウィング式が望ましい))
- ・ 試験管立て (15mLスピッツ用)
- ・ 手袋

PBMCを分離する際に特に注意すること

全ての操作は無菌的に行ってください。

→ 全ての容器 (試薬も含む) の蓋を開ける操作は、安全キャビネット 内で行う。

→ 安全キャビネットがない場合は、雑菌等の混入を防ぐため、試薬やスピッツのフタの開放時間をできる限り短時間にしてください。

事前にこちらからお送りするもの

- ・ SepMate™ (15mL、室温保存)
→ 密度勾配液が入っています。
- ・ 滅菌セラムチューブ 2mL (血漿保存用)
- ・ 滅菌クライオチューブ1.5mL (PBMC保存用)
- ・ 新しい滅菌スピッツ15mL
- ・ PBMC 洗浄液 (冷蔵保存)
- ・ PBMC 保存液 (CellBanker 1pulas、冷蔵保存)

注意事項

1. 全て滅菌済みです。コンタミしない様に使用・保管してください。
2. 特にPBMC洗浄液と保存液は細菌等が繁殖しやすいため、取り扱いにご注意ください。
3. PBMC洗浄液が不足した場合は、滅菌PBSで代用可